

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第2回 定例会)

質問順位	11 1番議員 松石健児
質問事項1	ひとり暮らしの高齢者福祉について
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>平成30年3月に、第4期基山町老人福祉計画及び第2期基山町地域福祉（地域福祉活動）計画が策定された。基山町の高齢化率は28.4%、高齢者数は4,934人（平成29年9月末）となっており、今後も増えていくものと予想される。計画書の中のアンケート調査で「日々の生活において感じている悩みや不安」の第1位は「自分や家族の老後や介護のこと（51.1%）」。また、「自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合にはどうしたいか」では半数前後が「自宅で暮らしたい」となっている。町では社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等と連携し、高齢者福祉の様々な施策を行っているが、ひとり暮らしの高齢者数の増加に伴う対策について問う。</p>
具体的な質問	<p>(1) ひとり暮らしの世帯（高齢単身世帯）数及び今後の傾向予測・見解は</p> <p>(2) 身近に頼る人がおらず、病気の時や、ひとりでできない日常生活に必要な作業ではどのような公的日常生活支援があるか。主なものを示せ</p> <p>(3) 誰も頼る人がいない場合、身元保証の公的サービスは受けられるか</p> <p>(4) いわゆる孤独死の場合、電気やガスの停止、遺品の整理等の公的サービスは行っているか</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第2回 定例会)

質問順位	11 1番議員 松石健児
質問事項2	長崎県対馬市との姉妹都市締結について
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>基山町は1599年から江戸幕末まで対馬藩の田代領（飛び地）であった歴史がある。1675年から1684年までの10年間、その田代領の副代官を務めた賀島兵助氏の功德を追慕する賀島祭を対馬市、鳥栖市の関係者ととも毎年行っている。1954年以降は基山町が祭主である。また、663年の白村江の戦いで百済に味方した日本（倭国）との連合軍が唐・新羅連合軍に負け、唐の侵略を恐れた大和朝廷は防衛のために665年に基山町の基肆城、667年に対馬市の金田城等を各地に築いた。これら2つの城はともに国指定特別史跡の朝鮮式山城である。</p> <p>このような共通した歴史的背景を持ち、対馬市とは子どもたちの交流事業やふるさと納税での返礼品の連携などを行っている。今後も文化交流や自治体間の親善を深めていくには有効な締結であると考えている。また、基山町の町制80周年の記念事業としても魅力があると考えている。</p>
具体的な質問	<p>(1) 過去に開催された、子どもたち相互の交流事業の期間及び主な実績を示せ。また、今後の交流事業の計画はあるか</p> <p>(2) ふるさと納税の返礼品の相互提供に関する連携協定の効果は</p> <p>(3) 対馬市への韓国人観光客数は6年連続して増加している。町の観光情報発信や農産物などの振興に協力してもらおう企画は立てられないか</p> <p>(4) 町制80周年の記念事業として姉妹締結を対馬市に提案できないか</p>